

大学院都市持続再生学コース 東大まちづくり大学院 シラバス

講義名	コミュニティデザイン／ランドスケープデザインスタジオ <ソーシャル・ランドスケープ・エッジ>
担当教員名	小泉秀樹（まちづくり研究室）、岡部明子（建築学専攻・岡部研究室）、熊谷玄（stgk inc.）、中島弘貴（まちづくり研究室）
単位数(コマ数)	3
講義曜日・時限	土曜日3限～5限
講義目的	近年、官民連携の下、公園や緑地といったランドスケープのデザイン・マネジメントにおけるコミュニティや市民の役割が拡大している。しかし、市民とはだれなのか、多様であるはずにもかかわらず、市民に対する十分な解像度をもたずに、ランドスケープがデザインされているのではないか。本スタジオでは、そうした問題意識に立ち、社会な文脈を考慮したランドスケープ、すなわち「ソーシャル・ランドスケープ」のデザインに挑む。 本スタジオでは、線状の空間(エッジ)に着目し、ソーシャル・ランドスケープ・デザインの方法を考える。 ・都市のエッジを敷地に、様々な市民の存在を前提としたランドスケープの空間のあり方を考える。 ・市民組織をピックアップして、その組織がエッジのデザイン・マネジメントを主導するとしたら？という前提でデザインを検討する。 ・エッジが持つ空間特性が、様々な市民の共存・包摂にどのように貢献するかを考える。 ・市民を中心として、行政、企業との協働のあり方をリデザインする。 ・都市のエッジを考えることで、「街」のあり方も問い直してゆく。 課題の進め方 ・チームで敷地をリサーチし、ソーシャル・ランドスケープのあり方を方向づけるためのコンセプトを話し合う。 ・リサーチ、市民組織の選定、プログラム、全体計画までをチームで行いその後、敷地をメンバーで分担して具体のデザインを行う。 ・都市の余白を意識する。 ・個人でのエスキスの体験を充実させる。 ・ハードのデザインはもちろん、ソフトのデザインや運営まで提案する。 ・シーンを一枚スケッチしてみる。
成績評価方法	基本的に最終成果物の出来栄で判定するが、途中段階での参加度合も考慮に入れる。

No.	講義日程	講義時限	講義者	講義形式	講義タイトル
1	6月7日	3～5限	岡部・小泉・熊谷・中島	対面	イントロダクション
2	6月14日	3～5限	岡部・中島	対面	敷地見学
3	6月21日	3～5限	岡部・熊谷	対面	エスキスチェック
4	6月28日	3～5限	岡部・小泉・熊谷・中島	対面	中間発表
5	7月5日	3～5限	岡部・小泉・熊谷・中島	対面	エスキスチェック
6	7月12日	3～5限	岡部・小泉・熊谷・中島	対面	エスキスチェック
7	7月19日	3～5限	岡部・小泉・熊谷・中島	対面	最終発表